【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成25年10月10日(2013.10.10)

【公表番号】特表2012-533861(P2012-533861A)
【公表日】平成24年12月27日(2012.12.27)
【年通号数】公開・登録公報2012-055
【出願番号】特願2012-521020(P2012-521020)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｈ　50/32　(2006.01)
Ｈ０１Ｈ　50/20　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｈ　50/32　Ｂ
Ｈ０１Ｈ　50/20　Ｂ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成25年8月22日(2013.8.22)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
特に内燃機関を始動させる始動装置用の、スイッチングリレー（１）であって、
接点装置（５）と、リレーコイル（２）と、アーマチュア（３）と、スイッチロッド（４）と、接点引剥装置とを有しており、
前記リレーコイル（２）の通電時には、前記スイッチロッド（４）が前記アーマチュア（３）により動かされ、前記スイッチロッド（４）を介して前記接点装置（５）が作動され、
前記アーマチュア（３）と前記スイッチロッド（４）は前記接点引剥装置を介して互いに結合されており、
前記アーマチュア上に前記リレーコイル（２）と前記接点装置（５）とをモジュールとして嵌めることが可能であるように形成されている、スイッチングリレーにおいて、
前記アーマチュアは前記引剥装置のためのラッチ可能なラッチング装置の一部分として形成されており、前記リレーコイル（２）と前記接点装置（５）はモジュールとして前記アーマチュア上に嵌めることができるように形成されていることを特徴とする、
スイッチングリレー（１）。
【請求項２】
前記スイッチロッド（４）は、前記リレーコイル（２）が無通電の状態では、軸方向に遊びを以て前記アーマチュア（３）内にラッチ可能である、請求項１記載のスイッチングリレー（１）。
【請求項３】
前記スイッチロッド（４）と前記アーマチュア（３）は接点引剥力よりも大きなラッチ解除力によりラッチ解除可能である、請求項１又は２記載のスイッチングリレー（１）。
【請求項４】
前記ラッチング装置は肩部（１０）と咬合する対向支承面（９）とを有している、請求項１から３のいずれか１項記載のスイッチングリレー（１）。
【請求項５】
前記スイッチロッド（４）は対向支承面（９）として少なくとも１つの戻り止め（９）

を有しており、前記アーマチュア（３）は肩部（１０）を有しており、前記肩部（１０）は前記戻り止め（９）の脚部端部の端面（１１）のための当接面（１２）を形成している、請求項１から４のいずれか１項記載のスイッチングリレー（１）。
【請求項６】
前記肩部（１０）の前記当接面（１２）と前記戻り止め（９）の前記端面（１１）はそれぞれ、前記スイッチロッド（４）と前記アーマチュア（３）のラッチ解除による取外しのために、軸方向に対して斜めに、とりわけ特定の角度（α）で形成されている、請求項５記載のスイッチングリレー（１）。
【請求項７】
前記ラッチング装置は前記戻り止め（９）を備えたスペーサブッシュ（８）を含んでいる、請求項１から６のいずれか１項記載のスイッチングリレー（１）。
【請求項８】
前記ラッチング装置は、とりわけ対向支承面（９）は、少なくとも部分的にプラスチックで製造されている、請求項１から７のいずれか１項記載のスイッチングリレー（１）。
【請求項９】
前記ラッチング装置は、とりわけ対向支承面（９）は、少なくとも部分的に、バネ弾性を有する金属材料で製造されている、請求項１から７のいずれか１項記載のスイッチングリレー（１）。
【請求項１０】
請求項１から９のいずれか１項記載のスイッチングリレーを備えた、内燃機関を始動させるための始動装置。
【請求項１１】
とりわけ請求項１から９のいずれか１項記載のスイッチングリレー（１）の、又はとりわけ請求項１０記載の始動装置のための組立て方法であって、
前記スイッチングリレー（１）は、接点装置（５）と、リレーコイル（２）と、アーマチュア（３）と、スイッチロッド（４）と、接点引剥装置とを有しており、
前記リレーコイル（２）の通電時には、前記スイッチロッド（４）が前記アーマチュア（３）により動かされ、前記スイッチロッド（４）を介して前記接点装置（５）が作動され、
前記アーマチュア（３）と前記スイッチロッド（４）は前記接点引剥装置を介して互いに結合されており、
前記リレーコイル（２）と前記接点装置（５）はモジュールとして、前記アーマチュア上に嵌められる、組立て方法において、
前記リレーコイル（２）と前記接点装置（５）をモジュールとして前記アーマチュア上に嵌め、前記スイッチロッド（４）の、前記接点装置（５）とは反対側の端部を部分的に前記アーマチュア（３）内に挿入し、前記アーマチュア（３）内にラッチ解除可能にラッチすることを特徴とする、
組立て方法。
【請求項１２】
とりわけ請求項１から９のいずれか１項記載のスイッチングリレー（１）の、又はとりわけ請求項１０記載の始動装置のための分解方法であって、
前記スイッチングリレー（１）は、接点装置（５）と、リレーコイル（２）と、アーマチュア（３）と、スイッチロッド（４）と、接点引剥装置とを有しており、
前記リレーコイル（２）の通電時には、前記スイッチロッド（４）が前記アーマチュア（３）により動かされ、前記スイッチロッド（４）を介して前記接点装置（５）が作動され、
前記アーマチュア（３）と前記スイッチロッド（４）は前記接点引剥装置を介して互いに結合されており、
前記リレーコイル（２）と前記接点装置（５）はモジュールとして、前記アーマチュアから引き抜く、分解方法において、

前記スイッチロッド（４）を前記接点装置（５）の方向に前記アーマチュア（３）から引き抜く、ただしその際、前記アーマチュア（３）の一部である前記ラッチング装置を解除するために接点引剥力を上回るラッチ解除力で前記スイッチロッド（４）を解除して引き抜き、前記リレーコイル（２）と前記接点装置（５）とをモジュールとして前記アーマチュアから引き抜くことを特徴とする、
分解方法。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１２
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１２】
上記課題は、アーマチュアが接点引剥装置の解除可能なラッチング装置の一部として形成されており、リレーコイルと接点装置がモジュールとしてアーマチュア上に嵌めることが可能に形成されている、スイッチングリレーによって解決される。
【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１７】
また、上記課題は、リレーコイルと接点装置をモジュールとしてアーマチュア上に嵌め、スイッチロッドの、接点装置とは反対側の端部を部分的にアーアマチュア内に挿入し、アーマチュア内に解除可能にラッチする組立て方法によって解決される。これにより、スイッチロッドは完全にアーマチュアを貫通しなくてもよいので、とりわけ上掲のUS 6,552,638 B2に比べて取付けが簡素化される。